

# 中学校 第3学年

武道場（38名） 指導者 花井 理紗

1 題材名 ラヴェル作曲「ボレロ」の魅力を伝えよう

## 2 題材の目標

○「ボレロ」の曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴と他の芸術との関わりを理解することができる。  
(知識及び技能)

○「ボレロ」の繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化をとらえ、曲全体を味わって聴くことができる。  
(思考力、判断力、表現力等)

○感じ取ったことや考えたことを友達と意見交換しながら、曲のよさを味わう。(学びに向かう力、人間性等)

## 3 子どもの実態とめざす子どもの姿

### 子どもの実態

1学期の「展覧会の絵」の鑑賞活動では、曲の特徴や背景から情景を想像したり、感じた楽曲のよさをグループ内でプレゼンしたりする学習に取り組んだ。情景や作曲者の思いを想像しながら聴くことができる生徒は多いが、曲の構造や特徴などの音楽的根拠を示しながら自分の考えを伝えたり、複数の要素に着目して多面的に音楽のよさをとらえたりすることができる生徒は少ない。



### めざす子どもの姿

- ・音楽の構造や特徴をとらえ、バレエとの関わりや曲の背景を知り、楽曲のおもしろさを味わう。
- ・感じたことや考えたことを、音楽的根拠を示しながら言葉で表現したり、話し合いや発表の場でまとめて伝えたりする。
- ・友達の考えや感じ方に共感し、楽曲のよさを複数の要素に着目して多面的にとらえ直し、批評文に表す。


## 4 題材について

本題材「ボレロ」は、ラヴェルによって作曲されたバレエ音楽である。一定のテンポで繰り返されるボレロのリズムによって、2つの旋律がさまざまな楽器の組み合わせで交互に奏される。曲全体が1つの長いクレシェンドで作曲されているのは、「セビリアのとある酒場。一人の踊り子が、舞台上で足慣らしをしている。やがて興が乗ってきて、振りが大きくなっていく。最初はそっぽを向いていた客たちも、次第に踊りに目を向け、最後には一緒に踊り出す。」という場面設定によるものである。本題材では、繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に着目して曲の特徴をとらえ、曲の背景やバレエとの関わりから楽曲のよさや美しさを味わう。そして、この曲の魅力について自分の考えをまとめ、友達と伝え合ったり共感したりする活動を通して、複数の要素に着目して曲を多面的にとらえる力と感じたことを言葉で伝える力を育みたいと考えた。

第1限では、5分のダイジェスト版を活用し、旋律やリズム、強弱について曲の特徴をつかむ。その後、15分間のオーケストラ演奏を視聴する。演奏している楽器がクローズアップされる映像を視聴することで、生徒達は演奏している楽器や人数の増加を確認しながら、音色や強弱の変化のよさを感じ取ることができるであろう。次に、バレエ「ボレロ」の映像を断片的に視聴する活動を通して、バレエとの関わりや曲の背景について知る。各々が考える楽曲の魅力を「推しポイント」としてまとめる活動を通して、この曲のよさや美しさについて深く考えることができるだろう。

第2限では、まず、「推しポイント」をグループ内で意見交流する場を設ける。そして、「『ボレロ』の魅力をプレゼンしよう」という学習課題にむけて、楽曲のよさについて音楽的根拠を示しながらグループでまとめる。学級全体のプレゼンでは、他のグループの発表を聞くことで、自分とは違った曲のとらえ方や感じ方を知り、さまざまな音楽的要素に着目した考え方に共感することで、多面的に曲のよさをとらえ直す場となることを期待したい。第3限では、この曲の批評文を書く活動を行う。もう一度、じっくりと曲を聴き、楽曲の美しさやよさを深く味わい、批評文として曲の魅力を表現する姿を願う。

5 題材の指導計画（全3時間）

時	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇支援と留意点 ※評価
1	<p style="text-align: center;"><b>「ボレロ」の特徴をつかみ、「押しポイント」をまとめよう</b></p> <p>○ダイジェスト版を聴いて、強弱、リズム、旋律の特徴をつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>旋律</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの旋律のくりかえしで曲ができている。</li> <li>・歌ってみると2つの旋律の雰囲気の違いが分かりやすい。</li> <li>・旋律Aは明るい感じ、旋律Bはちょっと不安な感じ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>リズム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小太鼓がずっと同じリズムを演奏している。</li> <li>・楽譜をみて、3拍子の曲だとわかった。</li> <li>・2小節で1つのまとまりになっている。</li> </ul> </div> <p><b>強弱</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1曲で1つの大きなクレシェンドになっている。</li> <li>・小太鼓の <i>pp</i> で始まって、最後は全員が <i>ff</i> で演奏している。</li> </ul> <p>○オーケストラ演奏やバレエの映像を視聴して、音楽の構造や曲の背景について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>構造</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律を演奏している楽器がころころ変わるし、楽器の組み合わせも変わる。</li> <li>・速さはずっと同じ。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>曲の背景</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレエ音楽を依頼されて作った曲なんだって。</li> <li>・酒場で一人の踊り子が踊っていて、だんだん踊りがはげしくなった。場面設定もラヴェルが考えたんだ。</li> </ul> </div> </div> <p>○「ボレロ」の「押しポイント」を個人でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じリズムが続くよさにしようか、楽器の音色の変化にしようか。どちらを「押し」としてまとめようかな。</li> <li>・自分以外にもバレエと音楽の一体感を推している友達はあるのかな。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>「ボレロ」はおもしろい曲だな。 みんなはどんなところを「押しポイント」にしたんだろう。</p> </div> </div>	<p>◇要素がつかみやすく、時間短縮になるように、5分のダイジェスト版を活用する。</p> <p>◇視覚的に旋律A Bの違いがつかめるように、楽譜を提示する。</p> <p>◇拍子やまとまりを意識させるために、デジタル教科書を活用してリズム譜を示す。</p> <p>◇楽器の音色に着目できるように、オーケストラで演奏している映像を視聴する。</p> <p>◇音楽的根拠をもって押しポイントをまとめられるように、classroom に音源を配布する。</p> <p>※「ボレロ」の曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解し、言葉で表すことができたか。 (発言、ワークシート)</p>
2 <b>【本時】</b>	<p style="text-align: center;"><b>「ボレロ」の魅力を伝え合い、新たなよさをみつけよう</b></p> <p>○グループを作り、「押しポイント」を発表し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>リズム推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じリズムが続く安定感がいい。</li> <li>・同じリズムが続いているからこそ、音色や強弱の変化がわかりやすい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; margin-left: 150px;"> <p><b>構成推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの旋律が何度も繰り返されることで、聴いている人の耳に残りやすく、親しみがわく。</li> <li>・2小節の崩れ落ちるようなラストがドキッとさせる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>強弱推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは <i>pp</i> なのに最後には <i>ff</i> になる。クレシェンドで踊る人がだんだん増えていくのが表現されている。</li> <li>・クレシェンドが踊る人達の気持ちの高ぶりを表している。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; margin-left: 150px;"> <p><b>音色推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の組み合わせを変えながら演奏するから、音色の豊かさが感じられる。</li> <li>・意外な楽器の組み合わせで新鮮な響きを生み出している。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>旋律推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表情の違う旋律が交互に出てくるので、聴いている人の気持ちも明るくなったり、不安定になったりしておもしろい。</li> <li>・旋律が2つしかないのに聴いていて単調な感じがしないのが不思議。</li> </ul> </div>	<p>◇一人一人の考えが深まる話し合いができるように同じような「押しポイント」の生徒同士でグループを構成する。</p>

○グループで「ボレロの魅力」についてまとめ、学級全体にプレゼンする。

- ・「押しポイント」は音色。楽器の組み合わせによる音色の違いのおもしろさをみんなにも感じてほしい。
- ・自分の気づいたよさは強弱に偏っていたけれど、みんなのプレゼンを聞いて、いろいろなよさがあるなど思った。

※話し合いや友達のプレゼンを聞くことを通して、深まった考えや新たに気づいたよさを言葉で表すことができたか。(話し合いの様子、ワークシート)



「ボレロ」には魅力がたくさんあることがわかった。  
もう一度じっくり曲を聴きたいな。

### 「ボレロ」のよさを味わい、批評文を書こう

3 ○「ボレロ」を通して聴き、批評文を書く。

「ボレロ」の魅力は、強弱と楽器の音色にあると思う。2つの旋律をただ繰り返すだけでなく、楽器の組み合わせを変え、演奏している人数を増やすことで、バレエを踊っている人数が増えていくのが想像できる。だんだん曲が盛り上がっていくことで、その場にいる人達の心の高揚感も感じるができる。

「ボレロ」の魅力は、旋律と構成のよさだと思う。2つの旋律は、1つが明るくて、もう一つは**tr**が使われていて、不思議な感じがする。その旋律を交互に繰り返すことで、聴いている人の心の残るような親しみやすい作品となっている。

◇前時の学習を振り替えられるよう、classroomで前時の板書のデータを配っておく。

○「ボレロ」の批評文を発表し合い、題材全体を振り返る。

- ・友達と話し合ったり、みんなのプレゼンを聞いたりすることで、自分とは違う音楽の味わい方があるということを知ることができた。
- ・みんなのプレゼンを聞いた後に「ボレロ」を聴くと、自分が気づかなかった聴くポイントに注目できて、より「ボレロ」の魅力が感じられた。

※多面的に曲をとらえ、音楽のよさや美しさを味わうことができたか。また、曲に対する評価とその根拠について自分の考えをまとめ、批評文を書くことができたか。

(批評文)



ボレロにはたくさんの味わい方があることに気づいた。  
いろいろな観点をもって音楽を聴くと味わいが深まるな。

6 本時の指導 (2/3時)

(1) 目標

○「ボレロ」の「押しポイント」や魅力について音楽的根拠をもとに伝え合い、新たな曲の魅力に気づくことができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 準備 教師：ホワイトボード、モニター、タブレット、ワイヤレスマイク、スピーカー

生徒：タブレット(6台)

(3) 展開

○学習活動 ・予想される生徒の反応	◇支援 ※評価
<p>「ボレロ」の魅力を伝え合い、新たなよさを見つけよう</p>	
<p>○グループで「ボレロ」の「押しポイント」を話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>リズム推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じリズムが続く安定感がいい。</li> <li>・ずっと同じリズムが同じ速さで演奏されるので、人間の心臓の鼓動のようで心地よい。</li> <li>・同じリズムが続いているからこそ、音色や強弱の変化がわかりやすい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>構成推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な旋律が2つで作られていて、何度も繰り返されることで、聴いている人の耳に残りやすく、親しみがわく。</li> <li>・同じ旋律の繰り返しだからこそ、それを違う楽器で演奏した時に音色の違いがはっきりわかる。</li> <li>・最後の2小節の崩れ落ちるようなラストがドキッとする。</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>強弱推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始めは耳を澄まさないとなんか聞こえないくらいの pp なのに最後には ff になる。クレシェンドによって踊る人がだんだん増えていくのが表現されている。</li> <li>・曲全体が大きなクレシェンドになっている最後は全員が大音量で演奏するので、気持ちも最高潮になるのが伝わってくる。</li> <li>・クレシェンドの盛り上がりや踊る人達の気持ちの高ぶりを表している。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>音色推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラの楽器がソロで演奏したり、楽器の組み合わせを変えたりしながら演奏することで、楽器の音色の豊かさが感じられる。</li> <li>・意外な楽器の組み合わせで新鮮な響きを生み出している。</li> <li>・次の旋律は何と何の楽器の組み合わせなのか楽しみになる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>旋律推し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律Aは明るくて、最初のフルートの旋律はとてもさわやかな感じ。旋律Bに入り、曲の雰囲気が暗くなったように感じる。</li> <li>・表情の違う旋律が交互に出てくるので、聴いている人の気持ちも明るくなったり、不安定になったりしておもしろい。</li> <li>・旋律が2つしかないのに、聴いていて単調な感じがしないのが不思議。</li> </ul> </div>	<p>◇一人一人の考えが深まる話し合いができるように同じような「押しポイント」の生徒同士でグループを組む。</p> <p>◇音楽で示したり、確認したりすることができるようにclassroomに音源や映像を配信しておく。</p> <p>◇各グループの曲のとらえ方が分かるように、板書で簡潔にまとめる。</p> <p>※自分の考えを明確にしつつ、曲の新たなよさに気づくことができたか。 【思、判、表】 (活動の様子、ワークシート)</p>
<p>○「ボレロの魅力」についてまとめ、学級全体にプレゼンする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色の違いのよさをプレゼンしよう。タブレットで音楽を流しながら、演奏している楽器と音色を比べられるようにしよう。</li> <li>・バレエの映像を示して、クレシェンドが踊る人数の増加を表しているよさをプレゼンしよう。</li> </ul>	
<p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強弱しか着目していなかったけれど、リズムがずっと同じだからこそ生まれる心地よさに気づくことができた。</li> <li>・15分飽きずに聴けるのは、意外な楽器の組み合わせが新鮮な響きを生んでいるからだ分かった。次に聴くときは、違う聴き方で聴いてみたい。</li> <li>・友達と話し合ったり、みんなのプレゼンを聞いたりすることで、自分とは違う音楽の味わい方があるということを知っておもしろかった。</li> </ul>	